

最終四月選挙発表

政治上かつて見ぬ重大な選挙も縣會並に市町村會を最後に終幕した。去る二十五日行はれた衆議院議員選挙には當平市からは豫定の自由黨關内正一氏を送り出し、此々三十日行はれた選挙は縣民並に市町村民の日常生活に一番直接關係のある問題の鍵として注目されてゐたが、三十日二十二時には縣會、一日の未明には市會議員が左の通り決定した。

縣會議員當選者
●平市
當五、〇一一 馬目武之助 民新當
當四、三二一 金古 政通當
●石城郡
當一、一六七 植田萬次郎 無新當
當一、一四五 蓮沼 龍輔 民新當
當一、〇三〇 小野 義一 民新當
當九、五四〇 渡邊 勝治 無新當
當八、五五五 木田 森之助 無新當

當	八、四三〇	大井川正己	無新
當	七、六八〇	星 友太郎	無新
當	七、一〇二	田畑 金光	無新
當	六、九五九	日野 利春	社新
當	五四六	松本 金市郎	當
當	五四五	塩 庄造	當
當	五一四	永山 勇吉	當
當	四三九	酒井 保	當
當	四三八	大塚 駒太郎	當
當	四二二	關場 益一	當
當	三九四	柴田 徳二	當
當	三七八	佐藤 源吉	當
當	三七七	江尻 忠平	當
當	三六九	眞木 桓	當
當	三六八	齋藤 角治	當
當	三六七	石山 一治	當
當	三六二	鈴木 政一	當
當	三五八	吉田 喜代治	當
當	三五五	馬目 武之助	當
當	三四八	高木 喬	當
當	三四七	國井 一美	當
當	三四三	水竹 伊之助	當
當	三四二	諸橋 正二	當
當	三三七	姪田 利光	當
當	三三三	永野 孝夫	當
當	三二二	大野 友春	當

内郷町助役新任
内郷町助役沼田一夫氏は今回家事の都合に依り辭任した。後は助役選任に付き町會を開き満場一致磯貝信夫氏、現内郷農業會常任理事を助役に新選した。



風旋

民主選挙遂に終りぬ、勝ちて濁さず、敗れて悔をなさぬ者、幾何ありや。勝てる者、慢心する勿れ。慢心は民主の敵なり。實行し得ざる公約ありせば、自己の政治的生命の終りと知れ。選ばれたる者、我等の代表、國民の聲を直ちに生かして行へ。新憲法の發布、新生日本の發足感激の極みなり。

街頭録音

肩書に物を言はせたい御連中の多く出たのには驚く。民主の假面をかぶる吸血鬼なるなかれ。平市の悪路修理、公衆便所の設置、急を要す。公衆浴場、市立病院、等々の衛生設備の早きを望む。黨派を超越して市政運用の萬全を期すを念とす。

平市大町 永山洗濯舗
店主 永山眞彦
電話六〇六番

敷島テント店
平市六丁目

平市仲町 大和田印刷所
大和田與兵衛
電話七二九番

石川洋服店
平市銀座通り
電話九五八番

尾張屋商店

福島縣平市五丁目
電話九四七番

店書田柴モトルマ
電話 七九五・四三二
七五八・〇三二

堂食モトルマ

各種物鑄造
小野崎株式會社
電話 氣造
地番四一町木材市平

松村醫院
福島縣平市白銀町
電話一〇七番

關内藥局

平市四丁目
電話四〇番

平市字南町 織田齒科醫院
織田 豊太郎
電話四一六番

新扇屋
平市田町一番地
電話八四五番

富士冷凍工業社
四倉工場 四倉町
川一二

記者五名募集
勤勞タイムス社

ひ適に會集……ふ添に分氣
店のサルマ
番 271 話 電